

わがまち 新井宿 Arai juku



入二小4年・森田 穂乃香さんの作品

春日神社にも美しい御酒杵が奉納されています。高さは、約46センチ。屋根は黒で、ゆったりとした曲線をもつ唐破風。金の獅子口がのついています。棟飾りは金の唐草模様と牡丹で仕上げられてあり、軒は、複雑に組み合わされた朱塗りの組物。職人の秘伝の技を見るようです。鴨居には龍の彫刻が施されています。



御酒杵とは、夏の早ばつに苦しむ農民が、雨乞いの行事に使った宮造りの工芸品で、神楽殿仕立ての様式になっています。二基一対で、天秤棒をわたして肩にかつぎ、雨乞いの山として信仰された神奈川県伊勢原の大山、阿夫利神社に詣でる大山講という風習から生まれた文化財です。

春日神社の御酒杵

みまわく

紫の垂れ幕の中には銅製の小さな瓶子が納められ、大山講の往路には御神酒を入れ、雨乞いの祈願の後には、清らかな龍神の水をいただき、途中休むことなく帰村して、もし休憩をとると、その地に雨が降ってしまう。村民に神水を分けたり、神社境内でふりまいて降雨を祈ったと伝えられています。対の一方に額があり、「大山御神酒」と記されているので、こちらを前

方にして担いだのかもしれない。春日神社の御酒杵は、今、ガラスケースに収められて並んでいます。大山講の風習が見られなくなつて久しく、少々、寂しそうな風情です。日照りつづきの夏、恵みの雨を願って大山への街道を担がれていく、かつての雄々しい姿が目に見えます。人々の日常に根ざした文化が衰退する中、地域の絆を深める意味でも、もう一度、登場してほしいものです。大田区立郷土博物館には、御酒杵を忠実に復元したものが展示されています。



阿夫利神社の参詣の習俗は絶えてしまいましたが、初代歌川広重の浮世絵に、天秤棒の両端に御酒杵を振り分けた参詣人の様子が、描かれています。



フラワーアレンジメント教室

旧新井宿七丁目町会

町会の婦人部は、毎年活動の一環として、クリスマス、お正月用に、お花教室を行っています。昨年未は22名参加がありました。授業のあと、茶話会をし、親睦と活性化を図りました。



受賞おめでとうございませう

☆東京都統計功労表彰

統計調査員 福島 政子

☆大田区政功労表彰

去る三月六日、大田区民プラザで区政に功労のあった方々に對する表彰が行なわれました。受賞された新井宿地区の方々は分野ごとに紹介します。

民生委員・児童委員

三澤 佳子

消防団員 時任 勉

自治会・町会(会長・副会長)

沖田 邦亨

町田 永司

(敬称略・順不同)

名店街会館をご利用ください!

山王三丁目東自治会



会館のPRと、地域の人々の親睦を兼ねて、三ヶ月に一度、カラオケ大会を行なっています。参加者は、二十五、六人です。又、カラオケ教室、カラオケ愛好家の方々の会場のご利用をお待ちしております。詳細・申込は石川 冨(3776)8009迄

おたプラ2015

昨年11月、表記の講演会が大田文化の森ホールで、新井宿自治会連合会と大田文化の森運営協議会の共催により、野村鉦市運営協議会会長を講師として行われました。人口66万人の大都市大田区が、向う15年間に及ぶ長期基本計画をたて、これを「おたプラン2015」と称し、区民と共に展開する運動です。

高齢者も、障害者も、子どもも、誰もが安心して快適に暮せるまちづくりのため、木目細かい計画の内容説明と「お役所まかせ」ではなく、区民と区政との協働により計画を実行しようという力が説かれました。地方自治、地方分権の時代を迎え、区民の知恵と経験を生かす良い機会であるとも語られました。

なお、野村講師は、中央一丁目在住、元東京都副知事、その他の要職を歴任されております。計画の詳細を知りたい方は、左記へご連絡下さい。大田区経営管理部 TEL(5744)1125 FAX(5744)1502

編集後記

陽春四月、私たちに生氣と潤いを与えてくれる楽しい季節を迎えました。良いニュースが聞こえてこない現状ですが、ひと時の余暇を作り花見の宴などができようか。

仏の教えに「和顔悦色施」という言葉があります。「にこやかな笑顔は人々に勇氣を湧かせる」という教えです。毎日をやさしい笑顔で、明るい生活を持ちたいですね。

なお、前号の「狐碑」は山王三丁目、竹内眞治様から、今号1面の「御酒杵」は中央一丁目、神社総代田中嶺久様から、資料提供を頂きました。2、3面につきましては、各小学校の教頭先生にご協力頂きました。有難うございました。

(延島副編集長)

発行 わがまち大田新井宿地区推進委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会
山王三丁目東自治会 中央四丁目町会
山王三丁目自治会 新井宿五丁目町会
山王三丁目町会 新井宿六丁目町会
中央一丁目町会 旧新井宿七丁目町会
共同編集………
監修 新井宿地区自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央四一三二一四
三三二七六一五九

入新井第二小学校

昭和十二年当時の校歌
《文語体》

《口語体》

校歌

作詞 藤村 作
作曲 片山穎太郎

一、
皇居の南 大森の
海にのぞんで 窓高く
かわらの波に まもられた
姿美し わが学びや

二、
まことの心 失うな
あせの尊さ 忘れるな
仲よく共に 手を組んで
学びましようよ 遊ぼうよ

三、
正しく強く ほがらかに
広い心の 人となり
再起民主の 国おうて
世界平和に 尽くましよう

一、
帝都の南大森の
海に臨みて窓高く
麓の波に守られて
立てるなつかし我が学校

二、
至誠の心失ふな

汗の尊さ忘るなよ
親しく共に手を組みて
遊びばん我が友垣

三、
正しく強くほがらかに
廣き心の人となり
やがては 民國背負ひ立ち
盡くしまつらん大君に

一、
帝都の南大森の
海に臨んで窓高く
瓦の波に守られて
わたくしたちのよい学校
みんなよい子だよい子供
わたくしたちはよい子供
二、三番省略

《校歌のへんせん》
校歌は昭和十二年六月に
できあがり、すぐに歌われ
ました。

文語体であるため、藤村
氏は子どもによくわかるよ
うに、口語体の校歌もいっ
しよに作ってくれました。
それが副校歌として、右
に記載したような歌詞になっ
ております。

校歌について

校歌は開校十五周年に、保護者会副会長坂詰 真氏が金五十円を寄付し、文学博士の藤村 作先生に依頼して作られました。戦後、歌詞に不適切な部分が生じたため、開校三十周年にあたる昭和二十七年、第八代校長加藤喜太郎先生が、歌詞の修正を原作者の藤村 作先生にお願いされています。そして出来上がったのが現在の校歌です。

校章のいわれ

桜は明るさ・潔さを教え、私たちに入学・進級を連想させる花なのです。本校の校章を考案してくださった川端龍子先生も、桜を愛され、桜の花に入新井と2の文字を組み込んだ校章を作ってくださいました。



儀の・軌の ～小学校歌 校章～



校門の桜、入学式、ランドセル、筆箱、教室の机と椅子、
友達的笑顔、先生の声。ぽつん ぽつんと 記憶をたどると、
懐かしさの向うには 何が見えますか？
あわただしい日常の中で ふと ひと息。
心の中の タイムカプセル、開けてみませんか？

入新井第四小学校

校歌

作詞 豊田八十代
作曲 福井 直秋

一、
平和の光に 恵まれて
この城南の 岡の辺に
立つ入新井第四校

二、
旭のごとく さわやかに
望みに生きて 年々に
わが学びやは ひらけゆく

三、
まことの道を もととして
心の鏡 みがきなし
共につくさん 国のため

校歌について

開校以来歌い継がれて来た校歌の作詞は豊田八十代先生。当校の建つ城南の地の自然の豊かさ、文化の高さを謳っています。特に「心の鏡 みがきなし」の部分を大切にしています。「磨き 為し」は国語・道徳の学習に取り上げています。そのため校歌がより一層印象深く、一人ひとりの心に残るものとなっています。作曲は武蔵野音楽大学長の福井直秋先生。言葉の持つ響きを大切にした旋律で、明るく親しみのある校歌です。

校章のいわれ

校章の外側の八角形は、大鏡を表しています。子ども自身が自らの姿を映しだし、確かめながら着実に歩いていこうという意味です。校名の文字をつつむようにしているのは月桂樹の枝の冠です。競技の勝利者の名誉を称賛するものです。



校歌

——山王の学び舎——

作詞 長田 恒雄
作曲 平井康三郎

一、
明けゆく海に あふれくる
朝のひかりを 身にあびて
かがやくみどり 森のかけ
ここ 山王の学び舎に
ひとみ明るく 伸びてゆく
ああ われら

二、
はるかな空に 照り映える
富士の高嶺を 仰ぎつつ
手をとりともに はげまして
ここ 山王の学び舎に
こころさやけく 伸びてゆく
ああ われら

校歌について

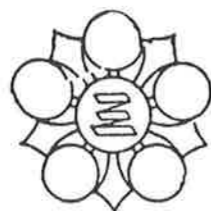
「作詞は長田恒雄氏、作曲は平井康三郎氏である。山王小学校は屋上へ出ると、晴れた日なら富士山も見える。校章は梅だということから、土地の歴史をふまえて作詞した。」と記録されています。

校章のいわれ

「この地域には、梅の木が多かったことと、寒さにたえ、万花に先がける梅花の気品の清楚、明るさを意味する（梅鉢文様）をかたどり中央に山王の文字とそのまわりに小学校の小を伏字として、校章を定めた。旧校章は、中央に入新井第三小学校の三の字を記した小円を置き、そのまわりに梅の花弁を表す五つの小円と五本の剣を交互に配したものである。」と書きのこされています。



三、
そよかせ吹けば きよらかに
つぼみふくらむ 梅の花
ゆかりも深く 匂い立つ
ここ 山王の学び舎に
いのち雄々しく 伸びてゆく
ああ われら



入新井第三小学校
大正14年～昭和28年



山王小学校
昭和28年（校名改称）～現在